

現代社会学科・メディア文化メジャー 特任教授・放送作家 村上信夫（メディア社会学）



たかはぎFN特番(2023～現在)



実践と研究

なめがたエリアテレビ(行方市)
朗読ドラマ制作(2020～現在)



「ニュース砂漠」「原発報道」

「SNSとジャーナリズム」

「オウム報道」「宗教と報道」



「研究」と「実践」そして「創作」

村上教員は研究、教育と共に自ら創作活動を行う、放送作家、劇作家として、テレビ番組の脚本、舞台の戯曲などを発表している。

- (1) 研究活動 以下のテーマで論文発表、シンポジウムの開催などを行っている。
「報道はオウムの暴走を止めることができたのか」「宗教と報道」
「SNSとジャーナリズム」「SNSとコミュニケーション」「選挙報道」
「ニュース砂漠」「戦争をどう語り継ぐか」「SNSと分断化社会」
- (2) ゼミ生とつくるテレビ・ラジオ作品
なめがたエリアテレビ（茨城県行方市）との共同制作『朗読ドラマ』（2020－現在）※2023年作品「神々の湖（うみ）」なめテレオンデマンドで視聴可能
たかはぎFM特番（2022－現在）※2024作品「高萩市政70周年たかはぎ音歩み」
- (3) 就職100% テレビ・新聞・広告などマスコミの就職率83%
村上ゼミの内定者、全国紙新人が自分のESを紹介する 村上ゼミ主催
「マスコミ就活シンポ」は、2012年から15回を数える。（参加者が多く2回開催した年もあるため）

超少子化社会・韓国で何が起こっているのか ージェンダー革命と家族構造の変化ー

【大学院人文社会科学研究科「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」プレ講座】

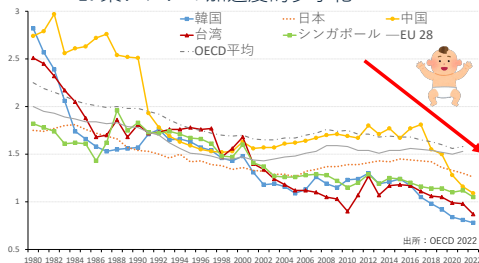
現代社会学科・国際地域共創メジャー
講師 笹野美佐恵（家族社会学、ジェンダー論）



- 日時
2024年 10月12日（土）
15:00～16:30
- 場所
茨城大学水戸キャンパス
図書館ライブラリーホール
- 講師
笹野 美佐恵
茨城大学人文社会科学部／講師

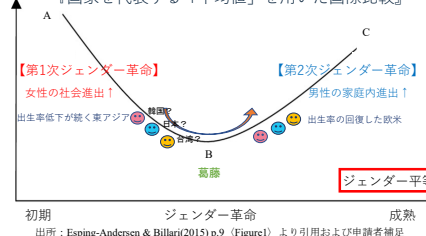
研究概要：アジア5都市の少子化に関する総合的研究ー価値観・実態・制度の比較- 茨城大学 笹野美佐恵

1. 東アジアの加速度的少子化

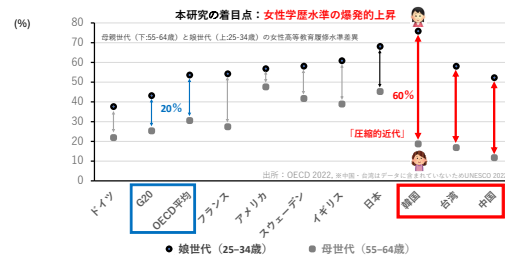


2. 欧米を中心とする理論的仮説：女性就業率と出生率に着目

出生率 『国家を代表する「平均値」を用いた国際比較』



3. 本研究の着目点：女性学歴水準の爆発的上昇



4. 本研究の連携・発展イメージ

→欧米の既存研究からは一向に明らかにできていない
アジア地域の「加速度的少子化」にかかる理論を究明



笹野美佐恵：「少子化研究：未来をつなぐ挑戦」

こんにちは！私は茨城大学で「家族社会学」や「ジェンダーの社会学」などの科目を教えている笹野美佐恵です。私は主に、家族、人口、ジェンダーに関する研究をしており、特に「少子化」という大きな社会問題に取り組んでいます。今日は、「少子化」というテーマを通じて、私たちの社会が抱える課題について一緒に考えてみたいと思います。

子どもが減っていく世界

今、日本をはじめ、韓国や中国などの東アジア諸国では、生まれてくる子どもの数が急激に減少しています。この「少子化」は、社会全体の未来に大きな影響を与える極めて重要な課題です。

私は、この「なぜ？」に答えるため、東アジア諸国の、特に少子化が深刻な都市を対象に国際比較研究を進めています。東アジアだけでなく欧米諸国とも比較しながら、「なぜ東アジアでは少子化が加速しているのか？」を解明することを目指しています。

私の研究の背景

4年間の学士課程の後、私は修士・博士課程を韓国のソウル大学で学びました。この経験を通じて、日本を外側から眺める新しい視点を得ることができ、そして比較することを通じて社会を理解する大切さを学びました。それが私の研究の原点となっています。

博士論文では、日本と韓国の少子化の違いに注目し、家族観やジェンダー関係の変化を分析しました。現在は、東京やソウルなどの東アジア5都市を対象に、「価値観」「実態」「制度」の3つの観点から少子化の原因を調査しているところです。

中でも、東アジアの社会変化を象徴する「女性の教育水準の急上昇」が、若い女性の生き方や家族の在り方にもどのような影響を与えているかを調べています。さらに、海外の研究者や進化生物学の専門家とも協力し、「人間の繁殖行動の変化」について、新しい視点を取り入れた研究に取り組んでいます。

研究の進め方と目指す未来

私は日頃、国や分野の枠を超えた「ワクワクする研究」を目指して調査・分析に励んでいます。少子化は、単に子どもの数が減るだけでなく、高齢化、労働力不足、地域社会の存続、福祉のあり方といった、私たちの生活に直結する問題を引き起こしています。

こうした課題に対して、私は具体的な解決策を提案し、「持続可能な社会」を作るための知見を提供したいと考えています。また、各社会の実情に適した政策提言を行うことも、私が目指している重要な目標です。

高校生の皆さんへ

皆さんは、今まで「答えのある問題」を解く「勉強」をしてきたと思います。大学では、これまで経験してきた「答えのある学び」とは異なり、「まだ答えのない問い」に挑む「研究」が始まります。例えば、

- * 「なぜ社会が豊かになると子どもが減るの？」
- * 「少子化が進むとどんな未来が待っているの？」
- * 「この問題を解決するにはどうすればいいの？」

といった問いに向き合い、自分なりの仮説を立て、それを検証することが研究の魅力です。このプロセスはとても刺激的で、自分の視野を広げてくれます。

世の中には「なぜ？」という問いであふれています。皆さんも、自分が「知りたい！」と思うテーマに挑戦してみませんか？茨城大学では、皆さんが新しいアイデアを形にし、未来の課題に取り組むためのお手伝いをする先生方や先輩方が皆さんをお待ちしています。ぜひ茨城大学で、研究の楽しさを体験しながら、未来をより良い社会に変える挑戦と一緒に始めましょう。茨城大学でお会いしましょう。

食菜録

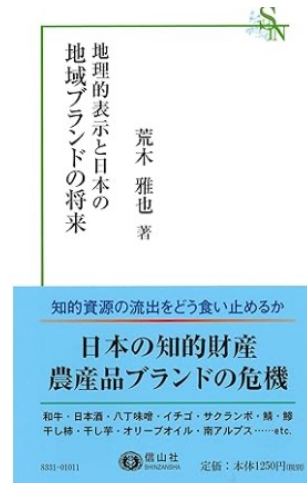
SHOKU
SAIROKU
しょくさいろく

法律経済学科・法学メジャー
教授 荒木雅也（経済法、知的財産法）

法律
経済

徳川齊昭（1800～1860）が記したと伝えられる、料理書『食菜録』

左 うけいり豆腐（山田屋旅館）
下 蓮の実料理（うのしまヴィラ）



（信山社, 2023）



（尚学社, 2021）



（朝陽会, 2020）

学生と共に、以下のようなテーマにつき研究しています。

- 地名を商標にできるのか？ 「ジョージア」の商標登録は許されるのか？
- 海外産の牛肉を「神戸ビーフ」と称して売るとは許されるのか？
- 日本の地域ブランドを海外で守るためには？
- 料理、味、香りは、著作権法や商標法で保護できるか？

以上について研究しつつ、茨城の伝統料理（『食菜録』掲載料理）の再現、復興に挑戦しています。県内のシェフにも取り入れられつつあります。

社会課題を調査 → 社会へ発信 新聞・雑誌・ラジオで

法律経済学科・経済経営メジャー 教授 清山玲(労働経済論ゼミ)

2020年・2021年実施 【コロナ禍における学生生活影響調査】

コロナ禍の学生生活への影響を2年連続 茨大生 約700人に調査
一人暮らし学生の生活困窮悪化 食料確保に困難 3人に一人、医療機関受診困難7人に一人



東京新聞【コロナと生きる@いばらき】
大学生活への苦境 茨大ゼミ調査として



茨大生への食糧支援等継続へ貢献
大学・多くの地域のNPO・ボランティア団体へ報告



社会課題の解決に1歩前へ

子育て支援調査

子育て世帯772名・茨大生408名に
Web調査・ヒアリング調査

調査をもとに子育て支援策を提案

市長・市職員100名以上参加

第7次水戸市総合計画策定に向けたプレゼン大会

大学地域連携学会で学生発表

茨城大学学生団体 学びと交流の秘密基地

「茨城大学学生団体 学びと交流の秘密基地」は、茨城大学人文社会科学部 労働経済論（清山）ゼミナールの学生たちにより2014年に発足。大学内ボランティアを募集し、他学部の学生も活動に参加して、学習支援等さまざまな活動を行っている。

活動背景

近年、出身や家庭環境で子どもの進学や就職の機会が制限される「**貧困の世代間連鎖**」が問題となっている。そんな境遇にある子どもたち（含む大学生）のため、私たちにできることをすべく、日々活動している。

活動目的

経済的な理由から学習することが困難である児童や生徒を対象に、私たち大学生が母子世帯の集まる施設に行き、無償学習支援と居場所作りを行うことで、拡大する**教育格差**とそれによって引き起こされる**貧困の連鎖**に**歯止め**をかけることを目的としている。また、**地域資源**を活用した**学習支援活動の可能性**を探り、それを通じて地域貢献に意欲的な大学生と対象となる児童・生徒との**マッチング**を図る機会をつくること、及び子どもや保護者が抱える学習面における不安の解消を図ることも活動理念となっている。

活動内容・実績

双葉台地区・ラクハイツ の無償の学習支援



FMばるるん 出演 「ほっと！HOTHOT！スクウェア」



「くらし活動助成金」贈呈式・交流会



広報活動

学びと交流の秘密基地の活動内容の公開や、教育関連の情報発信をHPやSNSを通じて行っている。



「ひみつきち通信」 の発行

奨学金情報や、地域のNPO等の食糧支援情報の提供と申請書の作成支援を行い、支援とそれを必要とする人との橋渡しをしている。



【助成金・寄付】
茨城青少年育成協会、茨城県共同募金会
花王ハートポケット倶楽部、さわやか福祉財団
バルシステム茨城栃木、労働経済論ゼミ卒業生有志

【後援・協力】
茨城NPOセンター commons
茨城県母子寡婦福祉連合会
水戸市教育委員会、水戸市社会福祉協議会
水戸市立双葉台小・中学校
(株) ゴールデンハーベスト

学びと交流の秘密基地活動

— 毎年助成金を獲得 —

1

公益財団法人茨城青少年育成
協会企画提案チャレンジ支援事業
(若者ボランティア実践事業)

2

花王ハートポケット倶楽部
セーフティーネットづくり支援事業

3

社会福祉法人 茨城県共同募金会
地域福祉特別助成

4

パルシステム茨城



美術作品と美術館から、歴史と現代社会を読み解く

人間文化学科・文芸思想メジャー教授 藤原貞朗（美術史）



2008年 めこん



2023年 名古屋大学出版会



2024年 講談社選書メチエ

藤原貞朗（ふじはら さだお）

大阪大学大学院文学研究科修了。リヨン第2大学留学。フランス美術と美術史学・考古学の歴史を研究。博士（文学）。

カンボジア考古学の歴史を研究した『オリエンタリストの憂鬱 フランス東洋学者とアンコール遺跡の考古学』（めこん、2008、サントリー学芸賞・渋沢クロード賞受賞）、昭和の大衆芸術を研究した『山下清と昭和の美術 裸の大將の神話を超えて』（服部正と共著、名古屋大学出版会、2014）、フランスの美術史と美術館を研究した『共和国の美術 フランス美術史編纂と保守／学芸員の時代』（名古屋大学出版会、2023、吉田秀和賞受賞）、『ルーヴル美術館 ブランディングの百年』（講談社選書メチエ、2024）などを刊行。

フランス語を中心に翻訳活動もし、訳書にガンボーニ著『潜在的イメージ』（三元社、2006）、『ゾラ 美術評論集』（三浦篤と共訳、藤原書店、2010）、そして、フランスの漫画BDであるタルディ著『塹壕の戦争』（共和国、2016）などがある。



人間文化学科 歴史・考古学メジャー

文献研究と現場での探求の有機的な
結合をめざす！



台湾での調査
国立台湾師範大学の学生との交流



集中曝涼の様子
学生ボランティアによる史跡の解説



2018年度から始まった「茨城県中世城館跡総合調査」が2023年3月に完了し、県域には1,135ヶ所の中世城館跡が分布することが明らかになりました。その調査成果を報告する場として、今年度は常陸大宮市を舞台に城郭サミットを開催します。山城遺構が数多く残る県北地区の中世城館について、調査を担当した研究者が集結し、その魅力を存分に語り合います！

令和6年 12月22日(日)
12:30～17:00 (11:30開場)

先着500名様
「茨城県中世城館地図—県北編—」
を進呈します

会場 常陸大宮市文化センター
ロゼホール 大ホール 常陸大宮市
中宮町3135-6

事前
申し込み
不要 入場無料
800名

第19回茨城大学人文社会科学部地域史シンポジウム
第17回常陸大宮市文書館カレッジ
茨城城郭サミット
茨城県中世城館跡総合調査成果報告会
県北編

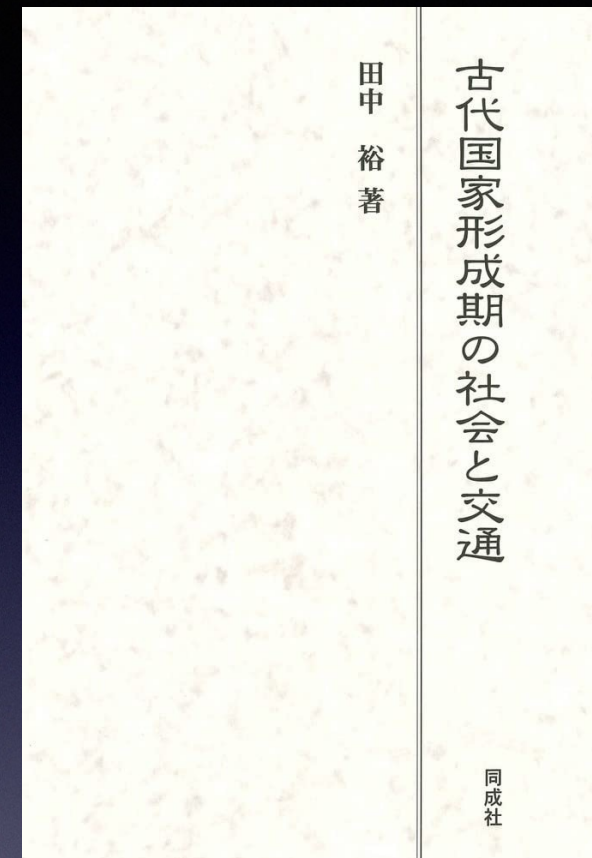
所属教員の近年の著作紹介



高橋修教員
(日本古代中世史)



中田潤教員
(ヨーロッパ近現代史)

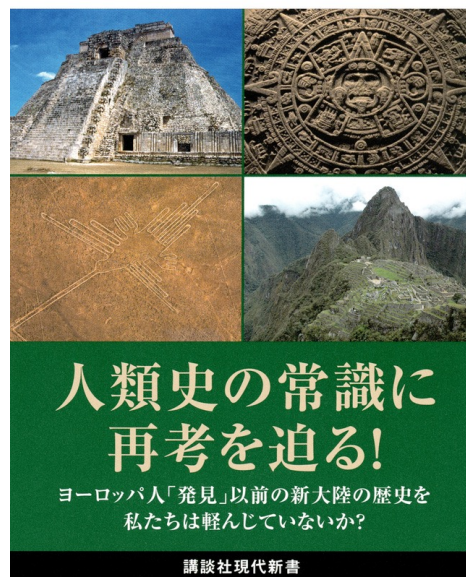


田中裕教員
(日本考古学)

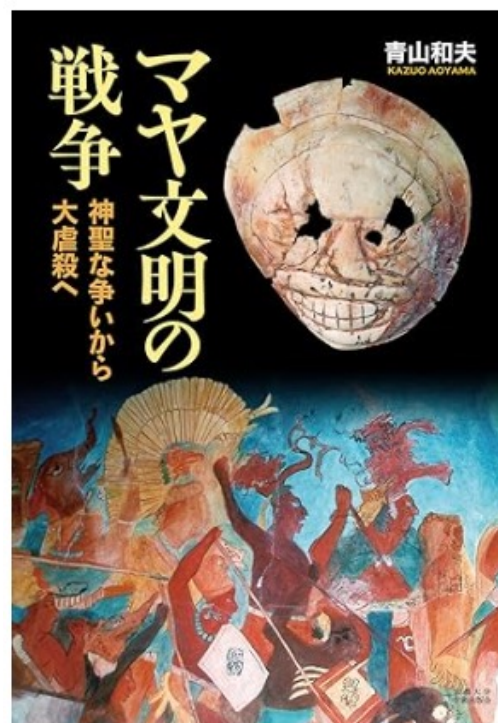
「暴れる気候」の影響を日本とマヤの古気候・考古学の研究で検証 —青山和夫教授参加の大型プロジェクト始動（学術変革領域研究A）

古代アメリカ文明

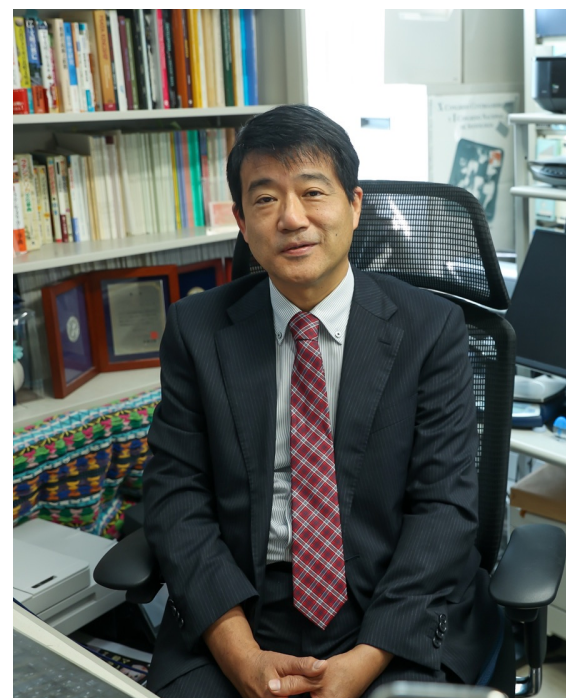
マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像
青山和夫 編



（講談社, 2023）



（京都大学学術出版会, 2022）



人間文化学科・教授
青山和夫

人間
文化

マヤ文明の起源・盛衰と気候変動の因果関係を従来にない高精度な時間軸において精査し、マヤ社会のレジリエンス（回復力）の本質を明らかにする



巨大基壇

メキシコ、タバスコ州アグアダ・フェニックス遺跡
マヤ文明で最大・最古の巨大基壇（前1100年頃～）
1413m × 399m、高さ15m、体積320-430万m³

nature
International journal of science



発掘調査